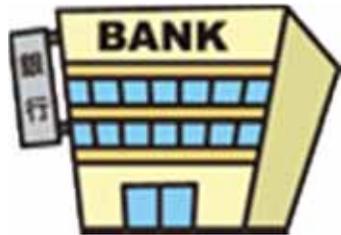


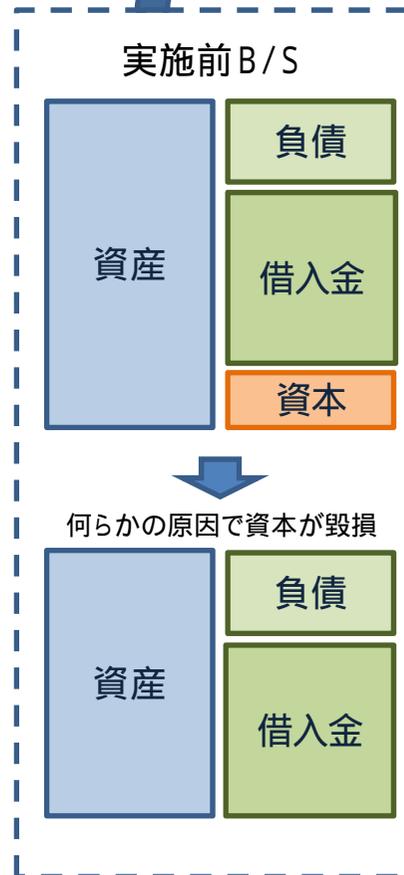
# 「十分な資本的性質が認められる借入金」の概要

金融機関と企業の協議により  
融資条件を変更(DDS)



金融機関

- 事業再生に向けた企業の取組みを支援
- 債権放棄等と異なり、一定期間後に元本回収が可能
- 条件変更時に定期的な情報開示を求める(コベナント設定)など、企業の取組み等に対するガバナンスが発揮できる



企業

- 実質的な資本増強に資するもので、企業の信用力が高まる
- 資本性借入金は、他の借入金の完済まで返済が猶予される(資金繰りが改善)
- 金融機関が支援を行うことで、対外的な信用向上も期待される